

講演会

障がい児家族の困難と母親役割 ～ジェンダーの視点から

今、育児の大変さや子育ての難しさがさまざまな角度から検証され、育児を担う母親への支援や子育て家庭をサポートすることが社会的な課題になっています。特に、障がいをもつ子どもの母親たちには子育てに伴う大変さが深刻な形で表れることが予測されます。献身的に子どものケアをすることが障がい児家族の1つのモデルになっている中、多くの困難や将来的な不安を抱えながら子育てを担う母親たち……。

障がい児の母親に対する聞き取り調査の結果をもとに、その問題点と課題について考えます。

講師 ふじ わら り さ 藤原里佐さん

北星学園大学短期大学部准教授

＜藤原里佐さんのプロフィール＞

同志社大学、北海道大学大学院を卒業、保育士、養護学校教員を経て、現職。

著書「障害児の母親の生活構造にみる特質と変化」

「障害児の母親役割に関する再考の視点—母親のもつ葛藤の構造」

日時 2009年10月18日(日)

13:30～15:30

会場 仙台市市民活動サポートセンター

研修室5 (定員50名)

参加費 500円

申込締切 10月15日(木)

参加申込・問合せ 090-1375-2871(網島)

FAX 022-215-7252

(FAXでのお申し込みは、裏面の用紙をご利用ください。)

主催 特定非営利活動法人イコールネット仙台

特定非営利活動法人イコールネット仙台は、男女平等社会の実現に向け、幅広いテーマに取り組んでいます。

参加申込書

FAX 022-215-7252

障がい児家族の困難と母親役割～ジェンダーの視点から

10月18日(日)13:30～15:30
仙台市市民活動サポートセンター研修室5

お名前 _____

団体名(所属) _____

TEL _____

FAX _____